ロコモ・フレイル公開講座が 11 月 4 日(土)14:00～プエナビスタで開催予定！参加無料です！

丸の内病院　連携室だより

ご自由にお持ちください

～掲　載　内　容～

・移転 10 周年記念事業＆第９回病院祭開催　・駐車場変更のご案内
・ﾛｺﾓ・ﾌﾚｲﾙ公開講座について　・新任・退職職員のご挨拶　・お知らせ

発行責任者：中土幸男　　発行年月日：２９年１０月１７日

～丸の内病院　理念～

1、私たちは、医療・介護における安全を重視し、患者さんを支える医療・介護を地域の医療機関と協力して推進いたします
2、高度の専門技術により、地域の皆さまの疾病管理と疾病予防に努力いたします
3、公益性を有する社会医療法人として、公正・適切な診療活動を実践します
4、医療・介護領域の教育研修を通じて人材育成を積極的に支援し、医療・介護の発展に寄与します

今日は楽しいお祭りだ！

～移転10周年記念事業＆病院祭を行って～

病院祭実行委員長　山﨑　秀

さあ、今日は楽しいまんまる祭だ。おやもう下で大きなギターの音が響いているよ。蟻ケ崎高校軽音楽部がリハーサルをしているんだね。でも随分大きな音だなあ、おじさんには刺激が強すぎるけど、まあ元気があっていいか。外では、屋台やゲームコーナーの準備がすっかり整ったね。この大きなふわふわアクアリウムは楽しそうだねえ。小さな子供たちが喜びそうだな。そういえば、準備の前には随分と皆で話し合ったねえ。みんな忙しい病院の仕事の合間をぬって集まってあれやこれやと議論したり、パネルを作ったり、何だか高校時代の文化祭を思い出すね。パネルもたくさんならんでいるよ。診療部は先生たちの顔がみんな紹介されているよ、かっこいいねえ。おや、モニターに渚移転の時のビデオが流れているじゃないか。もう昔の病院のことを知っている人の方が少なくなってしまったけど、なつかしいなあ。みんな若かったねえ。あ、そろそろオープニングの時間だ。さっきの蟻ケ崎高校の面々が元気よく演奏を始めたぞ。音楽に誘われて続々とお客さんが来場してくるね。患者さんも来てくれているようだな。ご挨拶したけど聞こえたかな。この大音響で病院全体にエネルギーがみなぎっていくようだ。ああもうそろそろ終わりだね。10 年も続いているなんてすごいことなんだって挨拶してくれたけど、若いのにいいこと言うじゃないか。これからを担っていく若者に大いに期待したいね。

いよいよここからは 10 周年の記念事業の始まりだ。中土院長が渚に移転してから今の丸の内病院の仕事の内容を詳しく紹介してくれてよくわかったぞ。丸の内病院は病気の治療だけでなくて、お年寄りの介護や健診などたくさんの仕事をしているんだね。みんながんばっているねえ。五味先生の生活習慣病予防の話もためになったなあ。たばこは周りのみんなにも害になるからやめるようにしなといけないんだね。町会長さんや会社の取締役さん、4 人の子育てをしながら公民館でお仕事をされている方がお招きされて病院のこれからについてたくさん貴重な意見をお話ししてくれたよ。丸の内病院が一番やさしい信頼される病院になってほしいって、気軽に相談できたり、普段気になっていることを教えてくれるような出前講座をやってほしいって、これから頑張らなくちゃね。

ミニ健康チェックも始まっているね。スタンプラリーをしながらあちこちで何やら測ってもらっているぞ。血管年齢や動脈硬化、骨強度、体組成測定とか日頃気になることを調べてくれているんだね。皆さん問題なかったかな、気になったら病院にかかって相談してね。ストレス測定はストレスのかたまりだらけのおじさんにはこわくてできなかったよ。薬剤部は今年も調剤体験をしているね。楽しそうだね。おや宇宙飛行士みたいな人が歩いているぞ。人工関節の手術を紹介しているんだね。

あちこち見て回っているうちにメインステージでは勇壮な和太鼓の演奏がはじまっているよ。小岩兄弟はかっこいいぞ。まるで鼓童のようだね。祭りといったらやっぱり笛や太鼓だね。わくわくしてしまうもんね。

祭りの気分も最高潮になってきたところで、いよいよお待ちかねの松本山雅の鐵戸さんのトークショーだ。子供たちも大勢あつまってくれているなあ。サイン会も大人気だ。来年は絶対 J1 にあがってほしいね。丸の内病院も応援しているよ。

ここらでちょっと外に出てみよう。ほらほらやっぱりアクアリウムは大人気だ
子供たちが楽しそうに遊んでいるぞ、屋台の美味しそうなスープのにおいも食欲をそそるなあ。
そういえばまだお昼を食べていなかったので、お腹が空いてきたからちょうど野菜スープをもらったし、一休みして腹ごしらえしておこう。今日は天気も良くてアルプスもきれいに見えるし、皆の行いがよかったんだね。祭りもフィナーレに向かっているけど、あともうひとがんばりだよ。

ところでおじさんはこれからどうしても別の用事でこの場を離れなくちゃいけないんだ。あとは想像で書いてみるけど、かんべんしてね。エンディングコンサートのゴスペルの歌声は 70 周年記念式典でも聴いたけど本当に美しいハーモニーだね。気持ちを清々しくしてくれるよ。最後の清澤先生の指揮による、ふるさとの全員合唱はとても盛り上がったんだろうねえ。また来週から日常の仕事が始まるけど、皆の気持ちがひとつになり頑張ろうって気になったにちがいないね。来年の病院祭もまた楽しくやりたいね。

まんまる祭の様子

たくさんのご来場ありがとうございました。

駐車場の出口が変更になりました

ロコモ・フレイル公開講座について

院長　中土幸男

「ロコモ」とは移動能力が低下し、放置すれば要介護になる危険性をはらんだ状態を指します。「フレイル」は体の予備能力が低下しストレスに弱くなり、放置しておくと死にも至る可能性がある状態を指します。しかし、いずれも適切な介入をすることで、再び元の状態に戻れる状態でもあります。この公開講座ではロコモ・フレイルを理解し、具体的にどうすれば介護状態を回避し、元気に過ごせるようになるかをご一緒に考えてみたいと思います。

※詳細内容は裏面パンフレットをご覧ください。

新任職員　ご紹介

地域医療連携室主任　百瀬　崇子

この 10 月より地域医療連携室に配属になりました。百瀬　崇子と申します。
今までは助産師として、開業の先生方、高度医療機関のスタッフの皆様には大変お世話になってきました。また、産後の退院支援では市町村、乳児院、児童相談所など多職種の方々にご協力をいただいて参りました。その中で他部署、他種職との連携の大切さを痛感し、同時に大変感謝しております。
今後は周産期だけでなくより広い分野での連携を学び、一人でも多くの患者様のおカになれるように努力していきたいと思います。ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

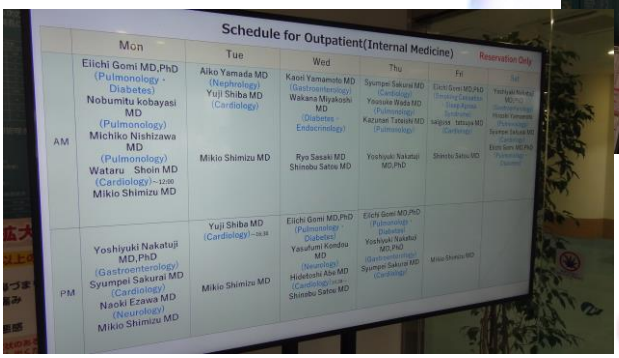
退職のご挨拶

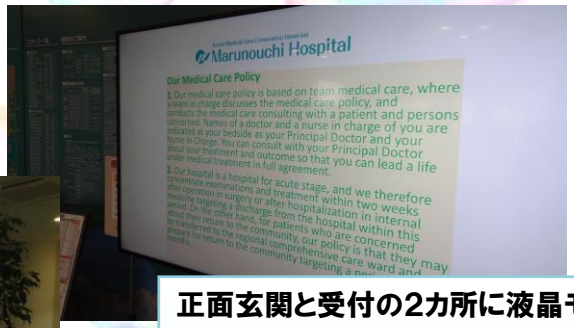
地域医療連携室課長　岩原　恵子

拝啓　秋冷の候　皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、私ことこのほど 10 月 31 日をもちまして社会医療法人抱生会丸の内病院を退職致します。在職中は、地域連携に対してご指導ご鞭撻を賜り大変お世話になりましたこと厚く御礼申し上げます。
末筆ながら、皆様の今後のご健康とより一層のご発展を心よりお祈りいたしまして、略儀ながら筆中をもってお礼かたがたご挨拶申し上げます。

敬具

外国人の方にも受診しやすい病院へ





正面玄関と受付の2カ所に液晶モニターを設置し、英語表記での案内を流しています。

また iPad の翻訳機能等を使用し、外語人の方でもスムーズに受診ができるような体制作りに取り組んでおります。

地域医療連携部　方針

1. 地域の医療・介護・福祉との連携を円滑にし、患者さんの治療・療養生活をシームレスに保つよう支援します。
2. 地域連携施設と診療情報を共有したネットワーク作りをすすめます。
3. 院内連携をシステム化します。

丸の内病院　地域医療連携部（地域医療連携室・退院支援室）
TEL:0263－28－3010（直通）　FAX:0263－28－3011（直通）

一般の方向け

ロコモ・フレイル公開講座

平成29年 11/4(土)

[時間] 14:00～17:00　入場無料

[会場] ホテルブエナビスタ 2階 メディアーノ

松本市本庄1丁目2番1号 [TEL] 0263-37-0111

高齢者の健康増進や維持にとって大切な疾患である**ロコモ**(運動器障害)と**フレイル**(衰弱)、それらに共通する**サルコペニア**(加齢や疾患により筋肉量が減少すること)について、この分野のリーダーである荒井秀典先生をお招きして市民の皆さんを対象とした公開講座を開催します。
市民の皆様には健康寿命延伸に向け理解を深めてもらう絶好の機会です。
講演と合わせ丸の内病院が実施しているロコモとフレイルの診断と評価、リハビリテーションの実践とその効果についての発表／実演もいたします。
入場無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

特別講演

1 健康寿命延伸のために考える ロコモ・フレイル対策

[講師] 国立長寿医療研究センター副院長　荒井 秀典 先生

[座長] 中土 幸男（丸の内病院院長）

2 丸の内病院での ロコモへの取り組みと成果

[講師] 丸の内病院リハビリテーション部　中山 朋子(理学療法士)

[座長] 百瀬敏充（丸の内病院リハビリテーション部部長）

3 ロコモとフレイルの診断と評価、リハビリテーションの実演

[講師] 丸の内病院ロコモ・フレイル対策チーム

機器展示および実演　骨強度測定器(株式会社日立製作所)／Inbody 体組成測定器
歩行計測装置(マイクロストーン株式会社)／姿勢計測システム(キッセイコムテック株式会社)
栄養食品展示　株式会社クリニコ／株式会社明治

[主催] 社会医療法人抱生会 丸の内病院　[後援] 松本市・松本市医師会

社会医療法人 抱生会 丸の内病院
[電話] 0263-28-3003(代)
〒390-8601 松本市渚1丁目7番45号
http://www.marunouchi.or.jp